

6
June

梅雨時期の感染症



梅雨時期の不調はいろいろありますが、今回は感染症についてお伝えします。

『梅雨』は、古来には『黴雨（ばいう）』とも呼ばれており、黴（かび）の多い時期としていられています。カビだけではなく病原体となるウイルスや小さなダニも増え、そのため感染症には注意が必要な季節です。

◎水虫（日本人の5人に1人がかかっている？）



水虫は、カビの一種「白癬（はくせん）菌」が足の皮膚に侵入して発病する感染症です。足にできるものや爪にできるものがあり、温度が15℃以上、湿度の70%以上になると感染力が上がります。

◎夏風邪



コクサッキーウイルスは発熱と口内炎、エンテロウイルスは腹痛や下痢、アデノウイルスは高熱と喉の痛みが特徴です。（手足口病やヘルパンギーナ、プール熱と呼ばれます）高齢者や小さいお子さまは重症化することがありますのでしっかり予防をしましょう。まずは体力を落とさないこと、基本的なうがい手洗いをしっかりとすることが大事です。さらに、腸内環境を整えるためにヨーグルトや納豆、ぬか漬けといった発酵食品を摂る事をおススメします。

◎夏型過敏性肺炎

湿度の高い日本に多く、日が当たらない古い木造家屋などでカビの1種「トリコスポロン」が発生し、吸い込む事で痰のからんだ席が止まらなくなったり、発熱したり、夏風邪様症状が続きます。

◎喘息・アレルギー性鼻炎・アトピー性皮膚炎

布団やソファなどにいるダニやダニの死骸・糞を口から吸い込むと、喘息の発作が、鼻から吸い込むと鼻炎が、皮膚に付着するとアトピー性皮膚炎などの症状が起こります。



◎疥癬（かいせん）

「ヒゼンダニ」が皮膚に寄生すると、疥癬とよばれる皮膚病になります。人から人へ感染し、お腹や胸、足、手などに「疥癬トンネル」を作り、とても激しいかゆみを伴います。

★ピュアタウン薬局おすすめOTC★

<効能・効果>

滋養強壮、虚弱体質、肉体疲労、病中病後、食欲不振、栄養障害、発熱性消耗性疾患、産前産後などの場合の栄養補給

※生薬成分（ゴオウ、ローヤルゼリー）配合

※BCAA（L-バリン、L-ロイシン、L-イソロイシン）配合

飲みやすい青りんご味、第3類医薬品です。

常温、冷やしたものどちらもご用意しております！



1本 ¥100（税込み）

1箱10本 ¥1000（税込み）